

やまきたまち 議会 だより

議会ののおと

P 2～9 … 令和3年度の当初予算可決
P10 … 新しい議会人事決まる
P20～21 … アンケート集計結果がでました



議会ホームページは
こちらから

放課後の楽しいもぐもぐタイム
放課後児童クラブ（関連記事は裏表紙に）

アフター コロナの 新時代へ

～ピンチをチャンスに～

3月定例会（3月4日～16日）において、令和3年度の一般会計49億1,900万円、特別会計、水道事業会計と合わせて85億6,610万円の予算案を審議し可決しました。

一般会計予算は町税が新型コロナウイルス感染症などにより、大幅な減少見込みであり、9年ぶりに財政調整基金を1億円繰り入れ前年度の当初予算より4千万円の増となりました。

コロナ禍ではありながらも、子育て支援や新たな交通支援策などに重点を置いた予算編成が伺えました。

注 目 事 業

放課後児童クラブ運営事業
10,497,000円



町直営から10月より民間へ
運営業務の委託検討

GIGAスクール構想実現へ
12,124,000円



1人1台パソコンの導入に伴い、
ICT支援員の設置

デマンドタクシー試行運転

3,333,000円

清水、三保地区の住民を対象に
3か月間試行運転実施

新型コロナウイルスワクチン接種事業

46,655,000円

近隣自治体や足柄上医師会と連携した
ワクチンの接種業務委託
及びワクチン接種者の送迎を実施

農業委員会委員

制度の改正により委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずるものとする。

当町において該当するものは何名か。

農林課長 現時点での認定農業者は2名。これらに準ずる者は8名が対象である。

町立山北診療所

患者数の減少に伴い日曜日に加え木曜日も休診日とする。

なぜ木曜日の患者数が少ないのか分析したのか。

保険健康課長 木曜日の診療は他の病院からの医師が担当していたからだと思います。



2月臨時会
(2月15日)

ワクチン接種をどのように進めていくのか。また、国からの補助で賄えない経費は町の負担になるのか。

保険健康課長 65才以上の高齢者を対象としたアンケートで、集団接種を受けるか送迎サービスを利用するかの意向を確認する。多くの町民に受けていただきたいと思っている。

集団接種する方はコールセンターへ申し込み、個別に接種する方は各病院へ申し込む。

財務課長 送迎も補助の対象となるなど支援が拡充してきている。県と相談して調整しながら進めていきたい。

4月臨時会
(4月27日)

連合自治会運営助成金が増額補正されているが助成の内容は。また、なぜ今補正予算で上げるのか。

町長 昨年コロナの影響で自治会のイベントや会議が中止になった。今年は地域内のコミュニケーションを継続していくためにも、イベントの運営の一部を業者に委託したり、ネット会議などに活用していただきたいと考えている。

予算編成の時にはコロナも収束するのと考え、計上しなかった。

令和3年度 一般会計補正予算

生涯学習センターに新たに設置されるライブ映像システムとは。

生涯学習課長 これまではイベントの度に業者に委託していたが、カメラを常置し配線を施すことにより、多目的ホールの映像をライブ配信及び視聴覚ホールで視聴することが可能になる。また、操作は職員でもできる。

今後、一般に貸し出す場合の料金等は検討していきたい。

学校給食費の6か月分を補助する考え方は。また、今後の予定は。

教育長 昨年度の補助は保護者のアンケートから大変効果があったという結果がでた。まだコロナも収束していないので引き続き支援していきたい。今後は、困窮している家庭にピンポイントでの支援も考えていきたい。



町の新たな玄関を核とした周辺整備を

土地利用構想概略図作成に向けた、町としての考え方は。
企画政策課長 土地利用構想の5つの展開イメージのうち、「SIC(※)周辺のゲート空間の整備」と「道の駅周辺の整備」について、より具体的な概略図の作成に取り組みたいと考えている。

ゲート空間の整備として ウェルカムサインや道の駅周辺を優先し、それ以外の展開イメージについては、地元の意見等も聞きながら、順次進めていきたいと考えている。

(※)SICとは スマートインターチェンジ

(仮称)山北SIC周辺 土地利用構想関連事業

D52の延伸計画

延伸に向けた調整について、今後どう考えているのか。
都市整備課長 庁内会議を開催し、後方延伸などの基本的な考え方を取りまとめている。

今後、鉄道公園内の遊具移設などの調整や経費についての検討をしていきたい。



D52の延伸で次の一手を

公共交通対策事業

試行運転予定のデマンドタクシーの内容と今後の取り組みは。
企画政策課長 清水・三保地区の住民を対象にデマンドタクシーの試行運転を本年10月から3か月間実施する予定である。

試行運転後は、十分な検証を行い、新たな地域公共交通のあり方についてしっかり取り組んでいきたい。



この賑わいをもう一度

再生可能エネルギー 導入推進事業

今後の方向性や導入に向けた優先順位は。
環境課長 マイクロ水力と木質バイオマスの2つを優先的に進める。

マイクログ水力については、民設民営で検討している。木質バイオマスについては、町内2施設に導入するための規模や燃料調達等の課題を取りまとめて、専門家の意見を伺いながら進めていきたい。
また、風力や太陽光なども合わせて検討していく。

各種イベント開催

コロナ終息後の新しいイベント開催の方法を検討するべきでは。
生涯学習課長 ウィズコロナの時代に入り、これまでどおりの各種イベント開催は、不可能であると考えている。

今後、イベント実行委員会などと共に、開催方法等について協議をしていく。

ここが聞きたい？ 予算審査

児玉洋一 予算特別委員会委員長

一般会計

町税収入

歳入が1億円の減少となっているが、その要因と住民税の課税人数は。
町民税務課長 新型コロナウイルスの影響に伴う法人の決算見込みから減収になっている。

個人住民税の現在の課税人数は、5328名で、前年と比べ3名の減少となっている。

町長 子育て世代の転入などを推進し、少しでも税収を増やせるように努力したい。

ふるさと応援 寄附金

歳入4億5千万円の算出根拠は。
また、体験型返礼品などを取り入れ、関係人口を増やす取り組みを進めては。



丹沢湖をSUPの聖地に

SUPの振興

SUPの振興に向け、湖面の通年利用など、もっと積極的に県に働きかけては。
町長 これまでおせちやローストビーフが金額的には貢献しているが、他の自治体でも同様のものがあり、歳入を見込むには不安定である。

体験型は山北町のPRとして、SUP(※)体験など金額よりもニーズを重視していきたい。

(※)SUPとは スタンドアップパドルボートの略
商工観光課長 湖面利用は現在、4月から11月までとされているが、今後の利用状況等を注視していく。

男女共同参画事業

啓発活動にもっと力を入れるべきでは。
企画政策課長 令和2年度は、中学3年生に対してマスケースと一緒に男女共同参画の解説を同封し、啓発に努めた。

更なる普及啓発については、外部講師の講演なども検討していきたい。
副町長 役場内においても、女性管理職の登用など、可能な限り増やしていきたい。

山北ブランド 推進事業

これが山北だという皆が認識できるような商品を推進していく必要があるのでは。
商工観光課長 現在、山北ブランドとして22品目が認定されている。今後、町版持続化補助金等を通じ、開発費なども支援できればと考えている。

商工会とも連携して取り組んでいく。



男女共同参画社会へ更なる啓発を

放課後児童クラブ運営事業

業務委託化のメリットは。また、施設整備・各種連携など、体制強化が必要では。

福祉課長 業務委託することで、きめ細かな運営が可能となる。児童の多様な体験や活動の機会、支援員に対する研修の充実、また困難な事例や専門的な分野のサポートを受けられるようになる。さらに、支援員についても多様な人材確保が図られる。委託開始は10月からの予定であり、委託化に向けて業者選定や保護者、町民への説明等、慎重に実施していく。

教育長 業務内容を見直し、子育て教育について一貫性を持ったビジョンを持つて進めていき、将来像としては教育を色濃く出したい。まず図工室を移設し環境を整え、子どもたちに教育を届けることがより良い形になるのではないかと考えている。

町長 学童で様々な問題があることは聞いている。今後も町がしっかりと関与して業務委託をし、より良い環境をつくっていく。



通年利用が待たれる図工室

定住対策事業

「空き家はあるのに住む家が見つからない」との声が多い。定住促進アドバイザーやサポーターを活用し、もっと積極的に移住定住を進めるべきでは。

定住対策課長 現在、定住促進アドバイザーは町内不動産会社に1名、サポーターは6つの連合自治会から6名と移住者2名の8名で構成している。町内の空き家と思われる56物件に対し、所有者にアンケート調査を行っているので、所有者だけでなく周辺の方も含め、サポーターと連携を図りながら移住定住につなげていきたい。



脚光を浴びる河村新城

文化財保護事業

河村新城は、紹介動画が公開され、現地を訪れる方も増えると思われる。今後の利活用に関する考えは。

生涯学習課長 今後、県と共催で新城見学会や、発掘調査による出土品等についても有効活用したい。

また、河村新城の御城印の作成や案内看板の設置、ガイドの会を發展させるなど検討していく。

教育長 現在、「地域課題の解決等の探究的な学びを實現する取り組み」に対して、コーディネーターを介し様々な支援協力を行っている。地域学習のため、町バスを使用したり、生涯学習センターの多目的ホールでの発表会、間伐体験や森林セラピーなど、生徒が実際に体験し、課題を把握して探究していくことにつなげる。同時に、新しい感性をまちづくりに活かしていく。

山北高校との連携

地域課題の解決等に向けて、山北高校との連携についてどう考えているか。

教育振興事業

GIGAスクール(※)の実現にはICT支援員の配置は重要である。今後の計画は。

学校教育課長 教育用PC端末運用支援業務委託で令和3年度ICT支援員の配置を考えている。GIGAスクールサポートと共々今後、週2日の勤務を予定している。

山北中学校費

平成26年度から使用されていなかったプールの土地借上料が計上されている。今後、プールの解体等について、問題を先送りせず、積極的に検討しては。

教育長 現在のプールを改修して、新しく水泳授業を行うことは難しいと思っている。学校施設の維持管理を行っているが、今後プールを解体し、返却することを考えていく。

特別会計

国民健康保険事業

加入世帯や加入数が年々減少している。平成30年度から運営主体が都道府県化となり、財政状況が見えにくい。実際の国保財政状況はどのようなか。

保険健康課長 昨年から国保加入世帯は55世帯、被保険者数は、129名減少しており、国保財政としては大変厳しい状況である。新型コロナウイルスの影響がある中で、保険税の見直しも難しい。

町長 県で統一化等についても調整をしている状況である。始まった当初は、各市町村の財政状況が異なるため、財政力が弱いところが恩恵を受けていた部分があったが、現在は財政状況が年々厳しくなると認識している。

上下水道課長 公営企業会計化することで、資産状況や使用料、補助金、起債による収入状況、維持管理費用等、長期的視点で、予算決算の「見える化」を図ることができるとしている。それにより適正な使用料について審議会等で議論していくことを考えている。

下水道事業

令和6年度から下水道事業が公営企業会計に移行し、運用する予定であるが、どのような変化があるか。

使用料は、全国平均値に対してどのような状況なのか。また、将来の見通しは。

上下水道課長 山北町は地形的にポンプを使わず、自然流下で流せるメリットもあり、全国水準から見ても安価となっている。本年度は、ストックマネジメント計画(※)を行うことで、今後の施設更新や修繕をどのように行うか検討し、適正な使用料等について審議会に諮る必要がある。



(※)GIGAスクールとは1人1台パソコンと高速通信ネットワークを一体的に整備し、創造性を育む教育を全国の学校で持続的に実現させるための国の取り組み

(※)ストックマネジメント計画とは

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の状況を考慮し、優先順位付けを行った上で、施設の点検・調査・修繕・改善等、全体を対象とした施設管理を最適化することを目的とした計画

議案等審議の結果

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度山北町山北財産区特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ372万円と定める	可決	指定管理者（非公募施設）の指定について ・町立の山北第2児童館、向原児童館、ふるさと直販加工所、共和のもりセンター及び中川温泉ぶなの湯の指定管理者を指定するもの	可決
令和3年度山北町共和財産区特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ4453万円と定める	可決	足柄上地区介護認定審査会共同設置規約の協議について ・介護認定審査会を共同設置するに当たり、足柄上地区1市5町で協議することについて議決を求めるもの	可決
令和3年度三保財産区特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ737万円と定める	可決	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について ・任期満了に伴い、委員を選任するもの「武尾昌則」氏	同意
令和3年度山北町介護保険事業特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ12億3454万円と定める	可決	山北町農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするについて ・農業委員会等に関する法律第8条第5項ただし書き及び同法施行規則第2条の規定により、山北町農業委員会委員の任命について議会の同意を得るもの	同意
令和3年度山北町商品券特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ698万円と定める	可決	山北町農業委員会委員の任命について ・山北町農業委員会委員等候補者選考委員会の答申に基づき農業委員会委員を任命するもの「三尋木重夫」氏、「高杉光男」氏、「二宮慶晃」氏、「杉山照枝」氏、「細谷晋之」氏、「磯崎加代子」氏	同意
令和3年度山北町水道事業会計予算 ・予算の総額は2億7234万円と定める	可決	令和3年度山北町土地開発公社事業計画及び予算について	報告のみ
町道路線の認定について(No.274号 川村歩道橋線) ・県道74号から町道269号川村小学校入口線までの通路を町道として管理する必要が生じたため、路線の認定をするもの	可決		

第2回 臨時会（4月27日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度山北町一般会計補正予算（第1号） ・主に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業、ワクチン接種による増で、歳入歳出それぞれ1億3214万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ50億5114万円とする	可決	専決処分の承認について（山北町税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
令和2年度町道谷戸北畑線災害復旧工事（繰越明許）請負契約の締結について ・工事請負契約を締結するもの	可決	専決処分の承認について（令和2年度山北町一般会計補正予算（第12号））	承認

第3回 臨時会（5月12日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和3年度山北町一般会計補正予算（第2号） ・主に新型コロナウイルスワクチン接種事業、川村小学校施設維持管理運営事業の増額で、歳入歳出それぞれ242万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ50億5357万円とする	可決	山北町監査委員の選任について ・「瀬戸顯弘」氏 ※山北町監査委員の選任について、瀬戸顯弘議員は当事者のため採決には加われません。	同意

第1回 臨時会（2月15日）

件名	審議結果	件名	審議結果
令和2年度山北町一般会計補正予算（第10号） ・新型コロナウイルスワクチン接種に対応するため、歳入歳出それぞれ670万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ74億4518万円とする	可決	専決処分の承認について（令和2年度山北町一般会計補正予算（第9号））	承認

第1回 定例会（3月4日～16日）

件名	審議結果	件名	審議結果
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について ・介護保険法施行令の改正及び令和3年度から令和5年度までの介護保険料の改定に伴い、改正するもの	可決	令和2年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第4号） ・主に確定見込みによる下水道使用料の減で歳入歳出それぞれ890万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ4億488万円とする	可決
山北町指定居宅介護支援及び基準該当居宅介護支援に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決	令和2年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算（第2号） ・主に浄化槽設置事業の減で歳入歳出それぞれ2471万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ3250万円とする	可決
山北町地域密着型サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定について ・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決	令和2年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） ・主に確定見込み等による保険給付金の減で歳入歳出それぞれ4248万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ12億7412万円とする	可決
山北町地域密着型介護予防サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定について ・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決	令和2年度山北町商品券特別会計補正予算（第3号） ・プレミアム付商品券の確定見込みによる減で歳入歳出それぞれ2167万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8576万円とする	可決
山北町指定介護予防支援及び基準該当介護予防支援に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令が施行されることに伴い、改正するもの	可決	令和3年度山北町一般会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ49億1900万円と定める	可決
山北町立山北診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について ・山北町立山北診療所の患者数の減少に伴い木曜日も休診日とするため、改正するもの	可決	令和3年度山北町国民健康保険事業特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ14億4122万円と定める	可決
令和2年度山北町一般会計補正予算（第11号） ・主に国・県補助負担金の変更、各事業費の執行見込みによる減で歳入歳出それぞれ1億1905万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ73億2613万円とする	可決	令和3年度山北町後期高齢者医療特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ1億8499万円と定める	可決
令和2年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号） ・主に確定見込み等による県支出金保険給付費の減で歳入歳出それぞれ3570万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ14億4416万円とする	可決	令和3年度山北町下水道事業特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ3億9446万円と定める	可決
令和2年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ・主に後期高齢者医療広域連合給付金の減で歳入歳出それぞれ97万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9445万円とする	可決	令和3年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算 ・予算の総額は歳入歳出それぞれ5692万円と定める	可決

5月12日開催の第3回臨時会において新しい議会構成となりました。

議会人事決まる



新議長
児玉 洋一

5月12日の臨時議会において議長に就任いたしました。6年間勤めていただいた府川前議長のバトンを受け継ぐことに、改めて責任の重さを痛感するところです。

新型コロナウイルスによりこれまで多くの企業や町民が影響を受け、町のイベントも中止となり、観光立町でもあ



新副議長
石田 照子

柿の葉の輝く緑が青空にまぶしい五月、議会も新体制となり、心新たに始動することとなりました。

この度、副議長に選任され、責任の重さを痛感しております。議長を補佐し、議会活動が円滑に機能するよう全力で

る当町も大きな打撃を受けました。しかしこうした状況下でも、自然豊かで都心からも近い山北町への移住や二拠点生活への注目も高まりつつあります。今こそ、地域の特色を活かした魅力あふれるまちづくりに向け、議会と行政そして町民が知恵を出し合い、力を合わせて取り組んでいく必要があります。

努めてまいります。

議会改革に終わりはありません。今までも、そしてこれからも、町民の皆様の声に耳を傾け、皆様の声を町政に反映してまいります。

また、身近に感じていただける親しみある議会をめざし、積極的な情報公開にも努めてまいります。

町民の皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶いたします。



小山町を走るデマンドバスは、通勤・通学・観光客など、誰でも利用が可能

調査・研究テーマ

総務環境 常任委員会

スマートIC周辺の土地活用 公共交通網の再構築

人口減少のスピードを抑え、移住・定住人口を増やすため、新たな玄関口ともなる(仮)山北スマートIC周辺の土地活用と公共交通網の再構築について、調査・研究を進めてきました。

人口減少の理由のひとつでもある公共交通の不便さを解消するため、委員会として清水地区で「公共交通課題の聴き取り調査」を実施しました。また、近隣自治体へ公共交通網の視察や、既に実施している共和福祉バスの取り組みなどの研究を重ね、令和3年度に三保・清水地域へデマンドタクシーの試行運転が予定されています。今後、この事業を検証し山間地域だけではなく、町内外を見据えた更なる交通網の利便性向上に向けて、調査研究していきます。

三保・清水地域で デマンドタクシー試行へ

町ではスマートIC周辺の土地利用構想をIC中心から半径5Km圏内で検討しています。委員会としては、範囲内にとどまることなく、三保・共和地域への観光振興やICを拠点とした北側へ抜ける新たな道路交通軸の検討も必要であると考え、今後も更なる調査研究を進めていきます。

土地活用はもっと 広域的視点で検討を

委員会 Report

議会では、所管の異なる2つの常任委員会を設け、町の諸課題に対し調査研究を2年間進めてきました。

5月からは新たな構成委員で、町の諸課題について引き続き調査研究を進めてまいります。

福祉教育 常任委員会

調査・研究テーマ

子どもの居場所づくり

子どもたちが健やかに、安心して過ごせる環境づくりを目指し、放課後の子どもたちの居場所づくりについて、放課後児童クラブを中心に調査・研究を進めてきました。



児童クラブの支援員との話し合いを重ねた委員会

放課後児童クラブを 業務委託化へ

放課後児童クラブ(学童)の運営については、委員会が実施したヒアリング等で様々な課題があることが明らかになりました。

事業運営の改善について、現地視察や担当課への提言をしました。また、令和3年度よりこれまでの体制から事業運営が民間委託になる予定です。新たな体制のもと、教室拡充などハード面の整備をはじめ、委託化することで事業運営の改善が図られるのか、今後も注視していきます。

関係機関の連携強化を

放課後の子どもたちが、毎週水曜日に地域の方々の参画を得て、交流活動を実施している「放課後子ども教室」では、遊具や備品が不十分との声を聞きます。委員会では現状調査に努めるとともに子ども教室を運営する担当課とコーディネーター、地域の方々との更なる連携強化が必要であると考えます。

夏休みの拡充教室なども含め、今後も子どもたちが安心して過ごせる環境となるよう調査研究していきます。

副委員長

委員長



石田照子



堀口恵一



遠藤和秀



瀬戸顯弘



瀬戸恵津子



瀬戸伸二



山崎政司

総務環境常任委員会

副委員長

委員長



児玉洋一



府川輝夫



清水 明



鈴木登志子



熊澤友子



富田陽子



和田成功

福祉教育常任委員会

委員長 瀬戸恵津子
副委員長 山崎政司
委員 和田成功
府川輝夫

監査委員
瀬戸 顯弘

委員長 富田陽子
副委員長 清水 明
委員 瀬戸伸二

足柄上衛生組合
議会議員
児玉 洋一
和田 成功

(広報分科会)
分科会長 清水 明
副科会長 堀口 恵一
委員 山崎 政司
和田 成功
府川 輝夫
石田 照子

足柄西部清掃組合
議会議員
児玉 洋一
石田 照子
山崎 政司

(広聴分科会)
分科会長 瀬戸 伸二
副科会長 遠藤 和秀
委員 瀬戸恵津子
熊澤 友子
鈴木登志子
瀬戸 顯弘

一般質問

問 将来の人口減少問題への取り組みは
答 目標達成のため各種施策を推進していく



瀬戸 伸二 議員

令和2年の一年間で当町の人口は、144人減少している。この間に総人口も一万人を割ってしまった。今後10年、当町の人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計では、大幅な人口減少が見込まれている。

現在コロナ禍にあり、都市部から地方への人口の流出がおきている事は報道により明らかである。山北の将来を考えたとき、今が人口減少にブレイクをかけるチャンスと考え質問する。



人口減少が著しい三保地区

問 山北町都市計画マスタープラン（素案）に本町目標人口9263人とあるが目標達成に向けての具体的取り組みは。

答 具体的には、交通インフラとして東山北駅前広場等の交通結節点の整備、住環境として既存公園の整備などがある。

山北町第5次総合計画を最上位に山北町第3次土地利用計画などと整合するものであり、目標達成のため各種施策を推進していく。



国指定重要無形民俗文化財「山北のお峯入り」

問 人口減少が著しい、三保・清水・共和地区の定住対策はどうなっているのか。

答 定住対策に関する町全体の総合的な計画や取り組み内容等を定め、庁内全体で移住・定住施策に取り組んでいるが、地区ごとの状況に合わせた具体的な対策については現状では行っていない。

問 人口減少による無形文化財に係る人材確保及び人材育成はどのようにするのか。

答 社会科副読本「歴史・文化から学ぶ わたしたちの山北」を発行し、町の文化を学び次代を担う人材の育成に取り組んでいる。継承意欲が活発化し、人口流出の抑制に繋がることに期待している。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 やまきた児童クラブの一層の充実を
答 保護者のニーズに応え充実させていきたい



和田 成功 議員

少子・高齢化が急速に進み人口減少社会を迎え、当町においても令和3年2月1日現在の人口は9954人である。

次代を担う子どもたちが健康やかに育つことができる環境づくりや、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て支援の一層の充実を図ることにより、定住・移住対策などにも寄与するものと考え質問する。



おやつを楽しむやまきた児童クラブの子どもたち

問 やまきた児童クラブの現状をどのように捉えているのか。また、子育て支援としての位置付けは。

答 保護者の希望に沿った取り組みを進めているが、今後も柔軟に対応していきたい。

また、安全で安心感のある生活の場としての取り組みなどにより、今後も子育てしやすい町として環境づくりを進めていく。

問 やまきた児童クラブに関する支援員・保護者アンケート調査の集計結果を踏まえ、運営改善に積極的に取り組んでいく考えは。

答 集計結果を参考に、保護者のニーズに応えつつ、安全で安心して子どもを預けることができる場所となるよう、様々な面で改善していきたい。



子どもたちがより安全で安心して過ごせる場所へ（児童クラブ支援員のミーティング）

問 小学校・放課後子ども教室・地域及び各担当課の連携強化が必要ではないか。

答 各担当課で連携・連絡等に密にしているが、さらに充実させるために業務内容の見直し等スピード感を持って行政改革を進めていく。

乳幼児教育保育のあり方基本方針に基づき0歳～15歳までの一貫教育・保育の基本方針を策定し、令和4年度から実施していく。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問



山崎 政司 議員

問 透間地区の砂利採取跡地利用計画の早期策定を 答 事業者・土地所有者の意見を伺い協力していく

答 現在事業者が平地化計画の見直しを進めている。また、保安林代替施設整備計画についても県と協議を進めている。引き続き関係者の意見を伺いながら協力していく。

問 透間地区の広大な土地で砂利採取事業が行われている。跡地利用について、企業の進出計画や住宅建設計画を促すためにも早期に土地利用計画を策定すべきでは。

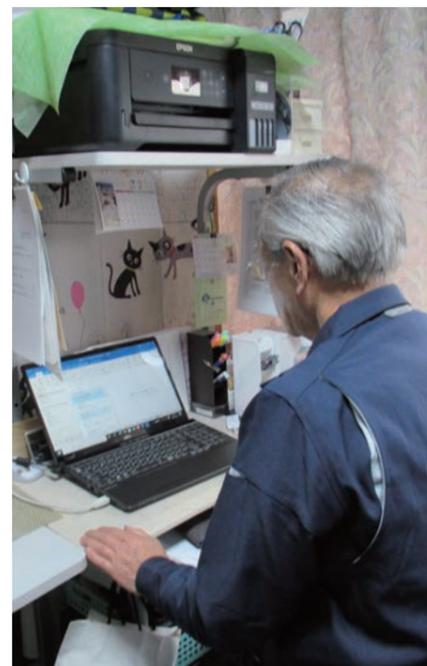


透間地区で砂利採取工事中

問 砂利採取税条例の今後の取り扱いは。

答 砂利採取税は、昭和57年に創設し、迂回路の改良整備や交通関係整備費への財源として活用してきた。

その結果、一定の成果があったこと、事業者の経営状況、総務省より今後の方向性について指導を受けていることから、次回の更新は大変難しいと考えている。



自宅でテレワーク可能

答 現在、計画を進めている水上住宅整備事業は、テレワークへの

問 その後の取り組み状況と成果、今後の計画は。

答 昨年、テレワークに伴う移住希望者を山北町に誘致し定住人口増加に繋げるべく質問し、あらゆるツールを用いPRに努めるところの回答を得た。そこで質問する。

問 テレワークに伴う移住希望者誘致の強化を 答 今後も情報発信、助成金を考える

の対応としてインターネット設備の設置を建築条件とし、事業者が募集をしている。

「お試し住宅」にもWiFi設備の導入を予定している。

丸山地区の宅地分譲地は、テレワークとなったことで購入を決めた方もおり完売となった。今後も情報発信をすると共に、空き家活用助成金の補助対象にテレワークに必要な費用も対象となるよう考える。

現在、計画を進めている水上住宅整備事業は、テレワークへの

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問



堀口 恵一 議員

問 大規模化災害に対応したまちづくりを 答 適切な対策を講じていく必要があると考えている

昨今、今までの想定を超える洪水、強風、土砂崩れ、夏の猛暑日の増加などが実際に起こっている。また、南海トラフ巨大地震も想定され、引き続き富士山噴火なども起こると言われている。国では、気候変動適応法を整備しており、町では将来的な気候変動にも対応できるまちづくりを目指すとなっている。そこで質問する。

問 町の大規模化災害への具体的な対策は。

答 避難所にポータブルバッテリー、ダンボールベッド、エコマットなどを購入、間仕切りを増



活用してはと思う新東名工事中トンネル

答 町職員有志がドローンを借りて利活用の調査研究を行っているが、防災の観点から町でも所有する必要があると考えている。

問 防災対策としてドローンの取り組み状況は。

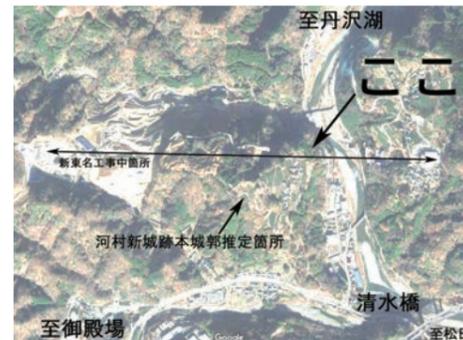
備し、改訂版山北町ハザードマップの全世帯配布を予定している。富士山噴火については、国、県により「富士山ハザードマップ」策定や広域的な防災対策が講じられている。それを踏まえ適切な対策を講じていく必要があると考えている。

問 新東名の自衛隊を含め災害時の緊急出入り口の計画は。

答 向原地区、共和地区、清水地区に緊急開口部設置計画がある」と聞いている。

問 新東名河内川橋工事の工事中トンネルを避難所、備蓄倉庫、観光利用など多目的施設として利用しては。

答 工事終了後は基本的に埋め戻しと聞いている。高速道路の事業用地内なので、高速道路保有・債務返済機構の考えが優先される。



旧清水中学校奥の新東名工事中トンネル箇所



山北、向原、岸の中心にあり地下活用をと思う丸山



地下利用を想定した場合の丸山断面イメージ

答 法律の対象地域でないので考えていない。

問 丸山の地下空間は避難所、備蓄倉庫、企業オフィス、他多目的での利用可能性がある。先進大企業に地下利用誘致を図る考えは。

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 脱炭素社会の実現化の考えは
答 ゼロカーボンシティ参画は重要



遠藤 和秀 議員

温室効果ガスが毎年、大気中に蓄積され地球温暖化を進行させ、異常気象災害を引き起こしていると言われている。化石燃料の利用による二酸化炭素の排出量を可能な限り減らし、脱炭素社会を実現することが、地球環境を守るために重要である。

国では、2050年までに温室効果ガスを80%に削減することを掲げている。

そこで質問する。



太陽光発電装置

問 国の所管は幼稚園が文部科学省、保育園は厚生労働省である。担当課の一元化を図ることに、支障はないのか。

答 国・県の所管が違うことが、担当課の一元化への障がいになるとは考えていない。

問 子育て支援充実のために今後の展開と実施時期は。

答 一貫教育・保育を実現することで、多様化するニーズにより充実した対応ができる。

令和3年度に基本方針を策定し、令和4年度から担当課の一元化に取り組んでいく。



間伐済み風景

問 建設を予定している公共施設の省エネ対策等の考えは。

答 既存の公共施設等における再生可能エネルギー導入の可能性について、調査・研究をしている。マイクロ水力発電については、一般社団法人自然エネルギー推進機構の提案で、パークゴルフ場への導入に向けて基礎調査等を実施している。

問 樹木は二酸化炭素の吸収に大変に必要であるため、町の森林管理の考えは。

答 当町の森林は国・県有林が多く占めており、町有林は健全な森林整備の促進を図っていく。

問 ゼロカーボンシティに向かう政策の策定をする考えは。

答 現在、本町では地球温暖化防止実行計画「やまきたアクションプラン」に取り組んでいる。ゼロカーボンシティの取り組みについては、大変重要と認識しており、参加に向けて前向きに検討をする。



マイクロ水力発電設置予定地

問 放課後子ども居場所づくりを学童の第3教室に図工室を

原稿は、質問者本人が作成しています。

一般質問

問 子育て支援の更なる充実を
答 0~15歳の一貫教育・保育と一元化を図る



熊澤 友子 議員

山北町は、子育て支援が充実していると感じていたが、他市町村でも同じような支援が行われている。今はコロナ禍で生活や仕事環境が変化し、子育て支援へのニーズも変わっていると考えられる。

「山北町の乳幼児教育・保育等のあり方基本方針」の中で「0~15歳の一貫教育・保育と一元化を図る」とある。良い取り組みであると思いい、次の点について伺う。



それぞれの時間を過ごす学童の子どもたち

問 国の所管は幼稚園が文部科学省、保育園は厚生労働省である。担当課の一元化を図ることに、支障はないのか。

答 国・県の所管が違うことが、担当課の一元化への障がいになるとは考えていない。

問 子育て支援充実のために今後の展開と実施時期は。

答 一貫教育・保育を実現することで、多様化するニーズにより充実した対応ができる。

令和3年度に基本方針を策定し、令和4年度から担当課の一元化に取り組んでいく。

問 放課後子ども教室は、参加人数が減少しているが対策は。

答 新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴う学校休業等に伴う減少であり、実質的には減少していない。今後も放課後児童クラブと連携を深め、魅力ある放課後子ども教室の運営に努める。

問 放課後児童クラブ(学童)は、現在2教室で異年齢の子どもたちがぎやかに遊んだり、宿題をしたり、本を読んだり、静と動のメリハリがつきにくい環境である。向いにある図工室を常時利用できるような提案する。町の考えは。

答 学習などで静かに過ごすためには、3つ目の教室が必要不可欠である。図工室の常時利用については、実施の方向で検討する。

子どもの居場所づくりとして、放課後子ども教室と放課後児童クラブ(学童)について伺う。

問 子どもの居場所づくりを
答 学童の第3教室に図工室を

原稿は、質問者本人が作成しています。

問 森林環境譲与税の具体的な計画の進捗状況は
答 林内路網整備と土留め柵を設置する



富田 陽子 議員

問 「町産木材の売り込みや利用の可能性について調査していく」という回答の調査内容は、

答 林内路網整備と森林組合から要望のあった民家近くの山林から落石を防止するための耐久性が高い鋼製土留め柵の設置に取り組んでいる。

問 森林現場の課題解決に向けた取り組み状況は、

答 令和元年6月の定例会で質問した「森林環境譲与税の具体的な計画は」のその後の進捗状況について問う。

問 子どもたちのコロナに立ち向かう気持ちづくりを
答 子どもたち一人ひとりへの支援策を考える



清水 明 議員

新型コロナウイルスの影響が長期化する中、子どもたちは「新しい生活」になじめず心の安定を保つのが難しい日々であると思われる。
 そこで質問する。

問 義務教育の児童生徒に「コロナ対策応援金」を支給するのはどうか。

答 応援金の支給も一つの方法であるが、状況に応じた効果的な子どもたち一人ひとりへの支援策を考えていく。

この2年間の一般質問の検証と進捗について質問する。

問 「子どもの居場所づくり」について、「学童保育」の施設、支援員の量的な課題について、どう現状把握しているか。

答 量的には不足は生じていない。支援員とのミーティングで課題を聞き取っているほか、支援員と保護者を対象にアンケートを実施し運営に生かしていく。また、体制強化に向けて民間委託を来年度中に実施したい。

問 自然災害の脅威が増している中、官（役場）と民（地域住民）を結ぶ役割を担う地域防災リーダーの結成を急ぐ必要があると思うか。

答 災害発生時における対応能力の向上を図るため、「防災官」を採用し、今後、地域防災リーダーの育成・支援に繋げていく。

問 避難行動の際のペット同伴について質問したがどのようになったか。

答 「避難所におけるペット対応のガイドライン」を策定し、ペットの受け入れ体制を整え、学校校舎を避難場所として考えている。



やまきた児童クラブで楽しく過ごす子どもたち

問 やまきた子どもも知っ得
答 既存の商品券の機能を拡充していく

問 昨年夏、ナラ枯れが各地で目立ち当町でも枯れている木があった。被害状況と対策は、

答 令和2年度、県全体で18224本、当町の被害報告は1881本である。森林組合などを紹介するとともに薬剤を提供する仕組みを考えていく。

問 「町内経済の活性化や感染症の拡大防止という観点で大変有意義だ」との前向きな回答をもたらしたがその後の進捗状況は、

答 既存の町商品券の機能を拡充するため、体験観光事業者も含め多くの事業者に登録を呼びかけていく。



NPO法人共和のもりが取り組んでいる地元の木材を使ったカッティングボード選手権



ペット同行避難の必需品

問 「GIGAスクール」の進捗につき、他市町ではタブレットを使った授業の実践例が報告されているが、当町での状況はどうか。

答 通信のネットワーク整備と1人1台の端末の配備が完了し、活用できる状況が整った。

問 修学旅行、卒業旅行へいけなかった子どもたちに向けて、町内での観光や体験をする機会を取り入れては、

答 町内での体験も検討したが期間が短く断念した。今後も検討は可能である。

議会アンケート

問7 議員及び議会議員に言いたいこと ※いただいた意見の一部を掲載しています。

【議会活動について】

- 住民の声をもっと聞いてください。
- 議員は町民の声(山北地域、山地、平地)をもっと吸い上げ議会で話し合い、より良い方法で実践するようにお願いしたい。
- 議会として私たち町民を巻き込みながら策を考えていくリーダーとなって欲しい。
- 行政への監視機能が全く機能していない。
- 将来の世代にできるだけ負の遺産を残さないように、町の財務内容を議会議員には厳しくチェックしていただきたい。
- 議員の役割を理解していない。町の政策、予算に対して町民の目線でチェックすること。
- 政策議論、次世代により良い山北をつなげる議論をしてほしい。
- 町議会としての活動や結果が町民に伝わりにくいと感じている。
- アピール報告活動に力を入れるべきと考えます。
- おしゃべりカフェは非常に良い活動だと思うが、どのようにフィードバックされているのか。
- 若い世代を引きつけるまちづくりを進めて欲しい。地域もバックアップできる環境をつくる。

【議員定数について】

- 議員定数を削減し、そのかわり議員報酬を増額する。
- 山間地域からは、最低一人は議員が必要だと思います。
- 近隣市町村と比べても人口が少なく、財政も厳しい山北町が議員定数見直しを否決したことは理解しがたい事でした。再度削減案の提出と可決を望みます。
- 財政や人口に対して議員の数が多すぎる。
- 人口減少に歯止めがかからない中、議員が自分の地位を守るために議員定数削減に踏み切れないように、町民としては見えてしまう。

【応援・激励など】

- このアンケートひとつとっても新たな取り組みだと思います。陰ながら応援しております。
- 私たちの選んだ議員です。信頼しておりますので自信を持って行動、発言していただきたい。
- 将来のために議会自ら大きく変貌し、時代の流れを先取りして、種を蒔く、水をやるのが大切だと考えます。良き入れが出来る様に頑張って欲しいと思います。
- 議会だよりが見やすくなりました。いろいろと議会改革が進んでいるんだと思います。



報告書をホームページ(上の画像からアクセスできます)及び議会事務局窓口で公表しています。



清水委員長のつぶやき

議員は4年に1度、選挙という評価を受けます。もちろん評価を受けるために議員活動をしているわけではありません。何もなくても4年間、一生懸命取り組んでも4年間。自分たちの活動はどうか。絶えず振り返りをしなければなりません。足を使って直接みなさんの声を聞くことが大切であることは論を待ちません。今回はアンケートの形で声をいただきました。1回目読んでみて、議員はこんな風に思われているんだと思いました。2回目読んで、そこは違うんだけどな、と反発の思いが起きました(ツツ、ツツ)。5回目読んで、頑張らなければと思いました。努力してねという声に応えようと思いました。

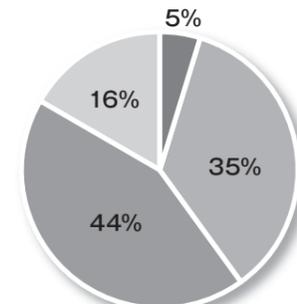
好評? なつぶやき

集計結果【概要版】

調査対象：全世帯
 調査期間：令和2年11月16日(月)～30日(月)

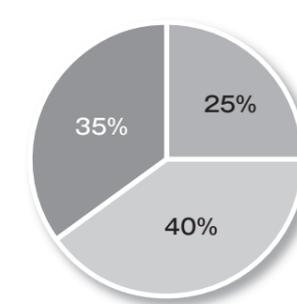
- 問1 性別 男178名、女129名、無回答7名
- 問2 年齢 10～20代(8名)、30～40代(34名)、50～60代(105名)、70才代以上(167名)
- 問3 お住いの地区 三保(40名)、清水(26名)、共和(14名)、山北(92名)、岸(61名)、向原(79名) ※無回答あり

問4 議会への満足度



満足度	割合	回答数
大いに満足	5%	14
ある程度満足	35%	110
あまり満足していない	44%	135
全く満足していない	16%	51

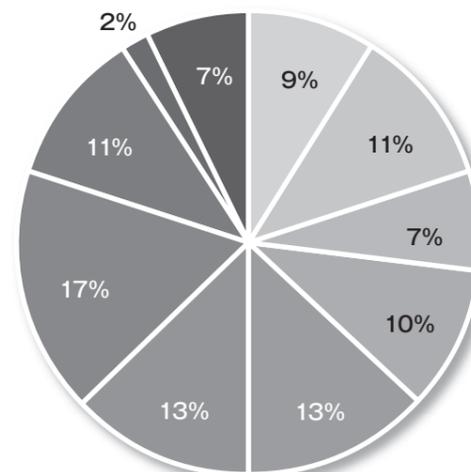
問5 町民の意思の反映



反映状況	割合	回答数
反映している	25%	77
反映していない	40%	124
わからない	35%	111

問6 ・反映・満足していない理由

複数回答 778回答



理由	割合	回答数
住民の声を行政に届けていない	9%	70
行政と町民の橋渡し役を果たしていない	11%	87
行政のチェック機能を果たしていない	7%	51
議員の資質、モラルが低い	10%	80
議員の政策立案能力が低い	13%	101
議会活動が町民に伝わらない	13%	99
定数や報酬の見直しが進んでいない	17%	132
次世代の担い手対策が進んでいない	11%	85
夜間、休日など、傍聴しやすい議会が開催されていない	2%	18
その他	7%	55

314件の回答をいただきました。
 はじめての議会アンケートにご協力いただきありがとうございました。直球あり、変化球あり、くせ球あり、きつい言葉の中にも議会に対する想いを受け取りました。さて、今度は議会からボールを投げ返す番です。直球勝負です。今しばらく時間をいただきます。

やまきた町議会 おしゃべり Cafe 開催しました!!

議会では、皆様との意見交換の場を増やすことを目的に毎月20日におしゃべりCafeを開催しています。

1/20 三保支所

- ◆ 広報モニターですが、他のモニターさんと意見交換がしたい。
- ◆ 幼、小、中学校合同のスクールバスがあると助かる。
- ◆ 三保地区の若い婦人層と議員間で意見交換の場を設けてほしい。
- ◆ 山梨県道志への県道開通実現を。
- ◆ SNSを含めた情報発信の推進を。
- ◆ 丹沢湖ビジターセンター・葉草園など遊休施設の早期活用を。



三保会場開催風景

2/20 議員控室内ミーティングルーム

- ◆ 鳥獣被害対策やヤマビル対策はどうなっているのか。
- ◆ 定数の削減は、多彩な意見が出にくくなるのでは、また少人数の意見で決められてしまう心配がある。町民の声が反映されにくくなるのでは。
- ◆ 広報モニターだけでなく、政策モニター制度もあるとよい。

※本紙面では、ご意見の一部をご紹介します。
※詳細な意見はホームページで閲覧できます。



No.204 議会のおと 広報モニターアンケート

議会広報モニター様によるアンケート回答の一部をご紹介します。

内部紙面について

- ◆ まちづくりに関する質問に対しての経過、結果がいつもわからないので、その経過を発表する場はもてないのか。
- ◆ 委員長のつぐやきコーナー好きです。ホッとします。



表紙・裏表紙

- ◆ マスクなしで運動場を走っている子どもたちの姿がとてもさわやかに感じられた。



一般質問について

- ◆ 皆さんの行政の関心事がかいま見られて興味深い。
- ◆ 議員さんの個性がそれぞれ出て多様な質問があつてよかった。
- ◆ 一年ごとに年間の一般質問の一覧とそれに対する、町の計画・実行等のまとめをのせては。

読んでもらうために

- ◆ 表紙の写真は、行事・活動等の場所・実施日(撮影日)も載せてほしい。
- ◆ Q&A形式より新聞記事形式の方が見やすいかも。



※全集計結果はホームページに掲載しています。



きかせて 山高生の声

山北高校の生徒の皆さん42名から、「総合的な探究の時間」の授業の中で議会だより203号を読んだ感想を寄せていただきました。一部をご紹介します。

おしゃべりCafeに行ってみようと思った。

文章が難しすぎて理解することに時間がかかります。もう少し簡単な単語や表現をすればもっと気軽に読めるはずです。



若者でも興味を惹くような記事や見出しがあつたら読む世代幅が広がると思った。

活いきひろばが良かった。地域の様子が分かりやすく、写真もあつてよかった。予算のことも分かりやすく書いてあつてよかった。

山北町を良く知ることができ好きになることができました。

※全感想はHPに掲載しています。



活きいきひろば

「子どもの幸せ」を第一に

放課後児童クラブ

施設長 中村 有佐さん



4月から施設長になった中村有佐と申します。3月まで川村小学校の校長を務めていました。川村小学校では、「がんばる自分・ささえる仲間・あたたかな聴き方・やさしい話し方」の「すてき」さんをめざしています。それは、児童クラブでも同じです。今回、着任して数日過ごしただけでも、たくさんの「すてき」さんが見つかりました。「分け隔てなく遊びの仲間に入れてくれる子」「1年生に逆上がりの仕方を教えてくれる6年生」「逆上がりができた1年生に拍手をおくる上級生たち」などなど、思いやりの気持ちが育っているなあ、と思います。

また、支援員さんは子どもたちの安全を考え、毎日、テーブルやスイッチなど手で触るようなところは全て消毒しています。大変な作業で、本当に頭が下がります。児童クラブに勤務するようになって感じたのは、支援員さんたちが本当に子どもたちのことを考えて一生懸命にやってくれていることです。そして、とても優しいのです。そんな支援員さんたちに囲まれて、子どもたちは幸せです。学校でも児童クラブでも、子どもたちにかかわる仕事の目標は「子どもの幸せ」です。「幸せに生きていく力」をつけてあげること、そして「今が幸せであること」それらのことを大切にしてさらに幸せなやまきた児童クラブにしていきたいと思っています。



やまきた町議会 おしゃべりCafe を開催します

町議会では、皆さまとの意見交換の場を増やすことを目的に「おしゃべりCafe」を開催しています。

日頃、議員は何をしているの？山北町はどうなっているの？私の思いを聴いて！など、なんでも結構です。

気軽にお立ち寄り頂き、皆さまの『声』をお聞かせください。

日時：6月20日(日) 13:30～15:30
場所：山北駅前Cafe NICO横
(芝生スペース付近)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催方法の変更や中止となる場合があります

※お越しいただく際は、マスクの着用にご協力をお願いします

議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月11日(金)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ

議会事務局 **75-3653**

編集後記

あじさい
ひっそりと佇む紫陽花が雨に煙る季節となりました。

酒匂川の鮎の解禁、開成町のあじさい祭り、夏のあの暑さを待ちわびる子どもたちの歓声が響くいつもの季節が巡っているでしょうか。

はたまたコロナの終息をめざして我慢の日々を送る毎日でしょうか。

さて、議会は任期の中間点を迎え、新しい議会構成となりました。この広報分科会もメンバーを入れ替え新しくスタートしました。

みなさんの声を行政に、そして行政の動きをみなさんに伝える。町民の皆さんから選ばれた代表として、皆さんと行政を結ぶ架け橋として今後も努力を続けて参ります。

皆さんのご意見をお待ちしております。
(清水 明)



議会ホームページ

山北町ホームページ

→町議会のアイコンをクリック



広報分科会
委員長 清水 明
副委員長 堀口 恵一
委員 山崎 政司
和田 成功
府川 輝夫
石田 照子